

エコツアーリズム大賞

地球と人に優しい旅を！
日本のエコツアーリズムの担い手たち



主催者のことば	
エコツアーリズム大賞のねらい	2
審査委員長講評	
「第1回エコツアーリズム大賞」の選考を終えて	2
第1回エコツアーリズム大賞の概要	3
大賞受賞者の紹介	4
優秀賞受賞者の紹介	5
特別賞受賞者の紹介	7
推薦された団体一覧	9
「第2回エコツアーリズム大賞」募集のご案内	12

エコツーリズム大賞のねらい

環境省自然環境局自然ふれあい推進室 室長 中島慶二



エコツーリズム大賞を実施するねらいは、良質なエコツーリズムの取り組みを増やしたいということにつきます。エコツーリズムの理念を具現化したすぐれた取り組みを実践している方々に光を当てると同時に、エコツーリズムを志す事業者や地域団体の皆さんが、今後の事業展開やしきみづくりを考えるにあたって、それらの取り組みを参考にしてもらおうということです。

エコツーリズム推進会議を立ち上げ、どんな推進方を展開すべきか頭を悩ませていたとき、基本的な問題意識としてあったのは、エコツーリズムの実践を志す方々に「エコツーリズム」の考え方をどうすればわかりやすく表現することができるか、ということでした。

悩んだ結果、私たちはエコツーリズムの実践に必要な本質的要素を、「ルールとガイダンス」という言葉で表現するようにしています。エコツーリズムの本質が、資源の持続的利用（と、その経済的な活用）である以上、資源の維持管理を何かしらの形でルール化している必要があることから、エコツーリズムの本質として「ルー

ル」は不可欠です。また、資源を消費することなく経済的利益を生むためには、付加価値の高い情報や体験というサービスを提供する必要があり、事業として成功するかどうかのカギになりますので、これもまた欠かすことができません。

今回受賞されたそれぞれの団体は、ルールとガイダンスのどちらかあるいは両方について、非常にすぐれた取り組みを行っておられます。大賞を受賞されたピッキオは、フィールドに生息するツキノワグマなどの野生動物の調査研究や保護管理に取り組むと同時に、図鑑などの書籍を発行するほどの専門性の高いスタッフによる解説サービスを提供しています。そして研究の成果は解説にも活かされています。一民間企業の取り組みであるにもかかわらず、ルールとガイダンスを高いレベルで追求している例として高く評価されました。

今後も「ルールとガイダンス」というエコツーリズムの本質的な要素に磨きをかけて多くの団体が応募して下さることを願っています。

「第1回エコツーリズム大賞」の選考を終えて

財団法人 日本交通公社 理事 小林英俊



第1回エコツーリズム大賞には、短い募集期間にもかかわらず全国各地から予想以上の応募があり、熱心にエコツーリズムに取り組まれる方々が全国に大勢いることがわかりました。寄せられた申請書からもその熱心さが十分に伝わり、多くの候補から大賞を選考するのは大変難しい作業でした。

今回の選考では、活動内容はもちろんですが、エコーアやエコプログラムを実施している事業主体が、対象地域の自然環境の管理主体と上手く連携が取れていること、そして、資源の保全だけでなく持続的な利用に向けて地域を巻き込んだ取り組みを目指していること、を重視しました。それは、望ましいエコツーリズムには自然環境や地域コミュニティに対する持続的な貢献のしきみが必要不可欠、との考えからです。

また、現時点での取り組みではまだ地域との連携が十分でなくても、新しい着眼点や他地域での取り組みに参考になるユニークな内容が盛り込まれていれば、特別賞

の対象にしました。さらに、第1回目ということで、これまでの日本のエコツーリズムの発展へ大きく貢献した活動や団体についても特別に評価の対象にしました。

今回の受賞団体を見ると、民間事業者・事業者組合・第3セクター・NPO法人と多岐にわたっており、また事業内容も、ホエールウォッチング、地域ぐるみの農業体験、マングローブでのカヌー体験、里山・里海での環境教育など本当に広範囲で、エコツーリズムの無限の拡がり可能性を窺わせるものとなっています。また、地域づくりにエコツーリズムの考え方を取り入れている団体も3カ所受賞しており、これらの地域ではエコツーリズムが今後どのように展開していくのかが目が離せません。今回の受賞団体は、いずれもエコツーリズム推進にとって大いに参考になるはずで、第2回目以降のエコツーリズム大賞にどのような応募があるか今から大変楽しみです。

第1回エコツーリズム大賞 | 概要

大賞の趣旨

エコツーリズム推進のため、エコツーリズムを実践する地域や事業者の優れた取り組み事例を表彰し、広く紹介するもので、更なる質の向上や継続に意欲を与えとともに、関係者の連携、情報交換などによる連帯意識の醸成を図ることを目的としています。



表彰式にて

受賞者一覧

大賞

ピッキオ（長野県北佐久郡軽井沢町）
地域生態系保全に貢献するエコツーリズムをめざして

優秀賞

小笠原ホエールウォッチング協会（東京都小笠原村）
ホエールウォッチングでエコツーリズムを実践
株式会社 南信州観光公社（長野県飯田市）
感動体験南信州 ～人の心あたたかく瞳輝く時～
ホールアース自然学校（静岡県富士郡芝川町）
自然語で話そう！～人と地球の明るい未来のために～
やんばる自然塾（沖縄県国頭郡東村）
住民主導のエコツーリズムで地域活性化

特別賞

特定非営利活動法人 霧多布湿原トラスト（北海道厚岸郡浜中町）
施策方針として示されたエコツーリズムによるまちづくり
財団法人 キープ協会（山梨県北杜市高根町）
山梨県清里高原で環境教育事業を20年展開してきました
紀南ツアーデザインセンター（三重県熊野市）
熊野がもっと熊野らしく輝くために
特定非営利活動法人 黒潮実感センター（高知県幡多郡大月町）
島が丸ごと博物館
有限会社 屋久島野外活動総合センター（鹿児島県熊毛郡上屋久町）
その生き様を見せるのがYNACのエコツアーです
仲間川地区保全利用協定締結事業者（沖縄県八重山郡竹富町）
日本最大規模のマングローブ林保全利用

大賞の経緯

2005年	
2月15日	公募開始
3月31日	応募締め切り 90件の応募
4月26日	審査委員会開催：大賞・優秀賞・特別賞の選定
5月20日	環境省記者会見で受賞者公表
6月5日	表彰式



受賞者にお祝いの言葉を贈る小池百合子環境大臣

審査委員会

小林英俊（委員長）	財団法人 日本交通公社 理事
下村彰男	東京大学大学院 教授
海津ゆりえ	特定非営利活動法人 日本エコツーリズム協会 理事
石山 醇	社団法人 日本旅行業協会 理事
桜井義維英	特定非営利活動法人 自然体験活動推進協議会 理事

（2005年6月末現在）

地域生態系保全に貢献する
エコツーリズムをめざして長野県軽井沢地域、
福島県磐梯地域

講評

地域資源の保全・活用に向けた「保護管理事業」「環境教育事業」「エコツアー事業」「調査研究事業」の4つの事業をバランスよく展開しています。特に、人とクマの共存を目指した「ツキノワグマの保護管理」は、良質なプログラムづくりに活かされ、地域貢献としても成果を上げていることを評価します。

応募の概要

軽井沢を訪れるお客様にエコツアーを提供する等、エコツーリズムの事業をスタートさせて今年で13年目となります。1998年にクマの保護管理事業に着手してから、総合的なエコツーリズムを展開して来ました。

軽井沢は、新幹線で東京から1時間という距離にもかかわらず豊かな自然環境に恵まれ、ツキノワグマをはじめ天然記念物であるヤマネやカモシカなど多様な生物が生息する特色のある地域生態系を形成しています。そうした地域固有の生態系を保全して行くことこそが、ピッキオの事業ミッションと考えています。一民間企業が「保全」「啓発」「研究」をトータルに事業として展開し、ビジネスとして確立することにより、持続的な地域生態系の保全を実現する。これがピッキオのエコツーリズムなのです。



クマの棲む森でプログラムを展開する

受賞の言葉

「非常に光栄です。3名で事業を始めた時から、科学と保全生態学を基礎としたピッキオ流を貫いてきました。認められて嬉しいです。地域とそこに生きる生物に密接に接したい、生物の生き様とそれを貫く生物界の法則を人に知らせたい、生物のメッセージあふれる楽しいプログラムを作りたい、地域の自然と人間に貢献したい、これらの信念の元に歩んできました。多くのお客様と関係者の皆さんと生物たちに支えられてきました。感謝を忘れず今後も頑張っけてゆきたいと思います。」

活動内容

1992年「野鳥研究室」として設立。1995年名前を「ピッキオ」に改称し、以来「森本来の姿を経済的な価値として高く評価できれば、未来に森を残して行ける」という信念のもと、森の面白さや楽しさ、大切さを伝える活動を事業展開をしてきています。1998年には人の生活圏とツキノワグマの生息域が重なる軽井沢で、クマを保護しながら人間生活を守る事業に着手し、クマと人との問題をテーマにした環境教育プログラム事業にも力を入れて、総合的なエコツーリズムを展開してきました。2003年「株式会社ピッキオ」を設立。2004年には「NPO法人ピッキオ」を設立。日本初のペアドッグ育成に着手をしています。



クマを捕獲し、一頭一頭を追跡する



毛皮をさわり、人とクマの共存について考える

連絡先

〒389-0194
長野県北佐久郡軽井沢町星野軽井沢野鳥の森
ピッキオビジターセンター
TEL : 0267-45-7777
FAX : 0267-46-6666
E-mail: picchio@picchio.co.jp
web : http://www.picchio.co.jp

組織の沿革

代表：南 正人
設立：1992年
スタッフ数：27名 ペアドッグのルナとブレッド

優秀賞

小笠原ホエールウォッチング協会(OWA)

ホエールウォッチングで エコツーリズムを实践

東京都小笠原地域



イルカとの感動的な出会い

講評

クジラの接近に関する自主ルールによるホエールウォッチングの展開等、先駆的な役割を評価します。活動内容は関係機関と協力した鯨類の調査・研究から人材育成まで幅広く、小笠原全体のエコツーリズムを推進する力となりました。

応募の概要

小笠原に生息するクジラやイルカを活かした観光の推進、その研究と教育普及、利用に際しての自主ルールの制定・運用、地域経済の活性化に取り組んできました。その結果、ホエールウォッチングは小笠原の観光の一翼を担うまでに成長し、日本のエコツーリズム実践の先駆的事例としても知られるようになりました。現在はそのノウハウを活かし、小笠原のエコツーリズム全般の振興を目的とした活動も行っています。

活動内容

観光客誘致のための広報や情報提供。対象となるクジラやイルカの調査・研究。それに基づく観察会やレクチャー、勉強会などの普及・啓発活動。自主ルールの設定と運用。インタープリター(ガイド)の育成。活動を通して、観光資源の保全と地域経済の活性化につながるホエールウォッチングの普及に努めています。



船上でのインタープリターによる解説

連絡先

〒100-2101 東京都小笠原村父島字東町
TEL : 04998-2-3215
FAX : 04998-2-3500
E-mail : owa@h6.dion.ne.jp
Web : http://www.ogasawara.or.jp/owa

組織の沿革

代表：筒井秀法
設立：1989年3月3日
会員数：本会員91名
一般会員310名

優秀賞

株式会社南信州観光公社

感動体験南信州

~人の心あたたかく瞳輝く時~

長野県飯田市、下伊那郡

講評

第3セクターが地域の生業を体験資源として掘り起こし、農業体験や自然体験等、質の高いプログラムを提供している努力をかいいます。地域における経済波及効果や、集客から体験機会の調整、精算迄のシステムの構築を評価します。

応募の概要

南信州18市町村と地元民間企業・団体が出資する第3セクターの株式会社です。エコツアー、農林業、アウトドアアクティビティ、味覚等様々な分野に及ぶ200近くのプログラムを展開しています。地域のインストラクターや受入農家の方々が、自分の生活・生産の現場や自然のフィールドで来訪者を受け入れ、時間をかけて地域の誇りや歴史・文化・自然・技術等を伝えています。私たちは窓口として、プログラムの手配・調整・清算の一切を行っています。

活動内容

主に首都圏、関西圏の中・高校の修学旅行の体験プログラムの手配と当日のコーディネート、プログラムを支える受入農家やインストラクターの確保、事業拡大のための活動が中心です。他に一本桜の名桜を中心に案内する桜守の旅や、冬の里山をスノーシューで楽しむウィンタートレッキング等、エコツアーの実施・請負等を行っています。



桜守の旅案内

連絡先

〒395-0152 長野県飯田市育良町1-2-1
TEL : 0265-28-1747
FAX : 0265-28-1748
E-mail : m-sinsyu@mis.janis.or.jp
web : http://www.mis.janis.or.jp/~m-sinsyu/

農業の生活を体験する



木の香り(ウィンタートレッキング)

組織の沿革

代表：新井徳二
設立：2001年1月9日
従業員数：4名

優秀賞

ホールアース自然学校

富士山全域、新潟県柏崎、
沖縄やんばる地域及び那覇周辺

自然語で話そう!
～人と地球の明るい未来のために～

講評

全国各地における20年以上に亘る活動の中で、エコツーリズムの普及に大きく貢献しました。魅力ある自然体験活動リーダーを育てる徹底した人材育成、資源の適正利用のためのガイドラインの設定等、主導的な役割を担ってきたことを評価します。

応募の概要

20数年間に亘る活動実績に基づき、自然体験活動やエコツーリズムについてのノウハウをまとめ、全国・海外に活動を展開して来ました。2002年にNPO法人ホールアース研究所を設立し、国や自治体等の行政事業の受託、ツアープログラムの開発、ガイドラインや「保全利用協定」など環境負荷軽減の制度づくり、エコツアーガイドやコーディネーターの人材養成研修会の開催等、地域におけるエコツーリズム導入・推進に貢献しました。

活動内容

富士山を拠点に、全国で自然体験活動やエコツアーを提供しています。富士山の原生林や火山洞窟のダイナミズム、沖縄やんばる地域の亜熱帯の海や森、ハワイやインドネシア、ボルネオ、カムチャツカ等の大自然や人々の暮らしを紹介しながら、年間約6万人の参加者を受け入れています。“自然学校が要らない社会”を目指し、活動を続けています。

連絡先

〒419-0305 静岡県富士郡芝川町下柚野165
TEL : 0544-66-0152 FAX : 0544-67-0567
E-mail : info@wens.gr.jp Web : http://wens.gr.jp

組織の沿革

代表：広瀬敏通
設立：1982年
スタッフ数：40名



動物を育み、自らの種を守に広げる
「森のお父さん」の樹、ミズナラ



森が発するメッセージを分かりやすく説明するインタープリター

優秀賞

やんばる自然塾

住民主導のエコツーリズムで
地域活性化

沖縄県国頭郡東村

講評

地域独自の生態系を保護しながら、体験型修学旅行の誘致等、自然体験学習の場として活用したエコツアーが秀逸。村と地域住民の連携により、地域資源や人材を掘り起こした上での地域の活性化に、大きく貢献したことを評価します。

応募の概要

『やんばる(山原)』とは沖縄本島北部地域に広がる亜熱帯の森で、活動地域である東村^{ひがしそんげきし}慶佐次はその入り口に位置しています。慶佐次川河口域に広がる沖縄本島最大のマングローブ林『慶佐次湾のヒルギ林』(国の天然記念物)は、地域で大切に保護されて来ました。私たちはこの流れを汲む地域起こしの活動から誕生した団体で、基本理念は環境の保全と活用、地域活性化です。職員は全て地元採用しています。

活動内容

エコツアーは慶佐次川をメインに全6コースあり、環境負荷への配慮から人数制限や満潮時のみの実施と定められています。プログラムは沖縄県外の修学旅行を対象に8コース、県内小学校を対象に6コースを設定。1999年以前、東村に県外旅行者は稀でしたが、2003年実績では個人ツアーと修学旅行(220校)等を含め18,000人を受け入れました。

連絡先

〒905-1205 沖縄県国頭郡東村字慶佐次82番地
TEL : 0980-43-2571 FAX : 0980-43-2585
E-mail : info@gesashi.com
Web : http://www.gesashi.com

組織の沿革

代表：島袋徳和
設立：1999年4月1日
スタッフ数：15名(非常勤を含む)

カヌー体験中



やんばるの自然を知りつくした
地域ガイドの案内



クラフトを指導する



ビーチにてクラフト

特別賞

特定非営利活動法人 霧多布湿原トラスト

施策方針として示された エコツーリズムによるまちづくり

北海道霧多布地域



インタープリターと
森を歩く

講評

エコツーリズムを地域の自然環境保全と経済振興を図る方策としてとらえ、行政と地域住民が一体となつてのまちづくりと質の高いプログラムを評価します。

活動内容

ナショナルトラストによる霧多布湿原保全の展開とともに、地域の生活や産業をつないだエコツアープログラムによるまちづくり、独自のエコツアーの基準策定等に取り組んできました。個人や家族向けのエコツアーと、修学旅行や総合学習を対象としたプログラムには、地域の酪農家や漁師が指導者・ガイドとして関わっていることが特徴です。これらを通して、地域と自然との関わり方や生きた生活の知恵、楽しさを伝えています。

連絡先

〒088-1531 北海道厚岸郡浜中町仲の浜122
TEL : 0153-62-4600 FAX : 0153-62-4700
E-mail : kwt@topaz.ocn.ne.jp
Web : http://www1.ocn.ne.jp/~wetlands/



組織の沿革

代表：三膳時子
設立：2000年1月21日
会員数：全国に約2570名

特別賞

財団法人 キープ協会

キープ = KEEP = Kiyosato Educational Experiment Project

山梨県清里高原で環境教育 事業を20年展開してきました

山梨県清里高原及び全国各地

講評

20年前からの全国的な自然体験型環境教育の実践を評価します。清里は自然環境教育の全国的なネットワーク集会の開催地として、実績に基づいた評価と地位を確立しました。

活動内容

環境教育部門ではプログラム・フィールド・スタッフの3つが整い、天然記念物ヤマネをキーワードにした環境保全策の具体的な提案やその他地域との連携による事業を多数実施しています。森や牧草地、渓谷が広がる約240haのフィールド、山梨清里高原を舞台に、自然・酪農体験プログラムの実施、ヤマネミュージアムの運営、休耕田を使った昔ながらの田んぼ作りなど、エコツアーの関連事業も多種多様に展開しています。

連絡先

〒407-0311 山梨県北杜市高根町清里3545
財団法人キープ協会環境教育事業部
TEL : 0551-48-3795 FAX : 0551-48-2990
E-mail : forester@keep.or.jp
Web : http://www.keep.or.jp/



組織の沿革

代表：金井務
設立：1956年3月16日
スタッフ数：100名

ヤマネをテーマとした
ガイドウォーク

特別賞

紀南ツアーデザインセンター

熊野がもっと熊野らしく 輝くために

三重県紀南地域

(熊野市・紀和町・御浜町・紀宝町・鵜殿村)

講評

地域資源の見直しやモデルツアーの実施で地域の誇りを呼び起こした効果や、活動を指導する「地域プロデューサー」の配置を特に評価します。

活動内容

三重・紀南地域には熊野の自然と文化が織りなす日本の原風景が残り、私たちは旅を通じた地域文化の復興と創造をビジョンに、誇りを持って旅人を迎え入れています。地域の受け皿づくりを促すモデルツアーや地域づくりへのアドバイス・場の提供をしながら、すべての人がもっと自分らしく生きること、かけがえない熊野がもっと個性豊かに輝くことを目指し、地域資源と人材の発掘、活用による紀南エコツーリズムに取り組んでいます。

連絡先

〒519-4323 三重県熊野市木本町517-1
TEL : 0597-85-2001 FAX : 0597-89-3210
E-mail : kinan-tdc@nifty.com
Web : http://homepage3.nifty.com/kinan-tdc/



組織の沿革

代表：橋川史宏
設立：2004年6月7日
スタッフ数：約6名

特別賞

特定非営利活動法人黒潮実感センター

島が丸ごと博物館^{ミュージアム}

高知県柏島周辺地域



産卵床づくり

講評

海と人との調和を目指したローカルルール^{ミュージアム}の作成や、地元漁業者との協議を踏まえた海の活用等、地域に根差したエコツーリズムの実践を評価します。

活動内容

四国西南端の島・柏島を「島が丸ごと博物館^{ミュージアム}」と捉え、人が海からの豊かな恵みを楽しむだけでなく、人も海を耕し守る、持続可能な里海づくりを目指しています。地域内外の人に柏島の素晴らしさを実感してもらい、守り育ててもらうために、自然を実感する取り組み、自然を活かした暮らしづくり、自然と暮らしを守る取り組みの3つの事業と、人と自然、漁業とレジャー、外部と内部の人の3つの調和を目標に実施しています。

連絡先

〒788-0343 高知県幡多郡大月町柏島625
TEL : 0880-62-8022 FAX : 0880-62-8023
E-mail : kuroshio@divers.ne.jp
Web : http://online.divers.ne.jp/kashiwajima/

組織の沿革

代表：立川 涼
設立：2002年10月4日
会員数：約600名

特別賞

有限会社 屋久島野外活動総合センター

その生き様を見せるのが YNAC のエコツアーです



虫眼鏡で見ると戦うサンゴの武器が見えてきた

鹿児島県屋久島地域

講評

エコツアーやガイド業の基礎づくりを果たしたことを評価します。自然資源を活用しての多彩なプログラム展開や調査研究等により、全国的なエコツーリズムの発展に貢献しました。

活動内容

屋久島の自然科学、人文科学全般に調査研究を進め、高度だが理解しやすく面白いインタープリテーションを開発しました。そのことがそれ迄開発一辺倒だった屋久島の意識を、自然破壊でなく上手な利用へと方向転換させる契機になり、質の高いエコツアーを確立させ、屋久島におけるエコツアーガイド業発展の基礎を築きました。定番のプログラムを抑えつつ、より豊かに山、川、海を体験するプログラムを幅広く実施しています。

連絡先

〒891-4207 鹿児島県熊毛郡上屋久町宮之浦368-21
TEL : 0997-42-0944 FAX : 0997-42-0945
E-mail : forest@ynac.com Web : http://www.ynac.com

組織の沿革

代表：松本 毅
設立：1993年7月1日
スタッフ数：11名

特別賞

仲間川地区保全利用協定締結事業者

日本最大規模のマングローブ林 保全利用

沖縄県西表島仲間川流域

講評

5事業者が協働して地域資源の保全・利用ルールを策定したこと、自治体が認可したその汎用性のあるしくみは、先駆的事例となりうる意義深い成果です。

活動内容

地域保全への取り組みや地域の方々との意見交換の機会を設ける等、保全利用協定を核とした良質なエコツアーを提供しています。主な活動は、動力船や大雨による砂泥の移動調査、マングローブの幼木とサキシマスオウノキの成長調査等の仲間川流域検証作業、地域住民を招待したマングローブ講座やカヌー・遊覧船での触れ合い事業、仲間川ガイドブック作成とプログラム参加者への配布、年一度の地域住民への年次報告会です。

連絡先

〒907-1434 沖縄県八重山郡竹富町字南風見201番地
株式会社東部交通
TEL : 0980-85-5305 FAX : 0980-85-5285
E-mail : fujisaki@iriomote.com
Web : http://www.iriomote.com

組織の沿革

代表：玉盛雅通 (株式会社東部交通代表取締役)
設立：2004年4月1日
締結事業者数：5事業者 (マリンレジャー金盛、南風見ばびよん、とんとんみー、シーカヤックツアー海月、株式会社東部交通)

カヌーで自然学習を行っている
修学旅行生

推薦された団体一覧

*「モデル地区」とは、環境省が実施しているエコツーリズム推進事業のモデルに指定されている地域のことです

都道府県	名称	取り組みの概要	実施地域*
北海道	NPO 法人 霧多布湿原トラスト	自然や景観とそこに暮らす人々や生活、産業との関わりをツアーに組立て、施策方針としてのエコツーリズムによるまちづくりを推進	北海道浜中町 (霧多布湿原)
	登別市・白老町観光連絡協議会	アイヌ古式舞踊による夜のプログラム。国の重要文化財をはじめとする地域資源の利用促進や地元農林漁業、教育機関との連携	北海道白老郡
	(社)白老観光協会	アイヌ民族文化で歴史・文化を理解するプログラム	北海道白老郡
	知床ナチュラルリスト協会	流水ウォーク(登録商標)の開発	北海道斜里町 (知床モデル地区)
	マリンエンタープライズプロジェクト 知床	知床生まれの漁師と観光客のふれあい	北海道斜里町 (知床モデル地区)
	(社)日本環境教育フォーラム・ 王子製紙(株)	社有林や宿泊施設を無償で提供し、環境教育の専門家がノウハウを提供しながら共同で実施している環境教育ツアー	北海道 (支笏洞爺国立公園)
青森県	NPO 法人岩木山自然学校	岩木川の自然環境を生かしたエコツアー。津軽の生活、文化を育んできた岩木川がどのように人と関わってきたのかを学ぶ	青森県中津軽郡
宮城県	宮城県田尻町	ルールに則った雁の観察ツアー、環境保全型農業の実践研究と普及	宮城県田尻町 (田尻モデル地区)
秋田県	(株)白神ぶなっこ教室	廃校利用のブナ原生林や農山村の暮らしを体験するプログラムを通じた都市部住民との交流。地元住民の理解と協力	秋田県藤里町 (白神モデル地区)
福島県	尾瀬檜枝岐温泉観光協会	「日本の自然保護発祥の地」と呼ばれる国立公園「尾瀬」における、民間のガイド協会によるガイドの取り組み	福島県南会津郡檜枝岐村 (日光国立公園)
	NPO 法人 A.R.S	地域資源を活用した総合環境学習の企画・実施と尾瀬や田代山、会津駒ヶ岳などの環境保全を目的としたガイドの養成及び派遣	福島県(会津高原)
	裏磐梯早稲沢温泉村 「熊まつり」実行委員会	駆除対象となったクマを最大限に活用しながら、地位の伝統文化を後世に伝える試み「熊まつり」。その伝承と郷土食の復活	福島県北塩原村 (裏磐梯モデル地区)
	ペンションすずかけの散歩道	ペンションの四季の自然体験活動を通じて、地域の成り立ちや特殊性を伝えるエコツアー。地域住民と観光客の交流の促進	福島県北塩原村 (裏磐梯モデル地区)
	ネイチャリングサポート もくもく自然塾	一般観光客に対する自然体験活動を通じたエコツアー。多彩な自然体験プログラムには環境への配慮と地域の貴重さをアピール	福島県北塩原村 (裏磐梯モデル地区)
	磐梯東都バス(株)	バイオ・ディーゼル燃料を使用したレトロバスの運行による、二酸化炭素排出抑制等の自然環境保護と観光振興	福島県北塩原村 (裏磐梯モデル地区)
栃木県	(株)日光自然博物館	修学旅行、林間学校等に対するエコツアー	栃木県日光市 (日光国立公園)
	本田技研工業(株)管理本部 MO 室	レース場を取り囲む広大な里山をフィールドとし、ガイドウォークやものづくり体験、野外生活体験などの様々なプログラムを展開	栃木県芳賀郡
埼玉県	秩父市	秩父地域全体を調査して、300以上の自然環境資源をデータベース化	埼玉県秩父市
	NPO 法人 名栗カヌー工房	カヌー体験と地場木材を利用したカヌー制作	埼玉県飯能市(飯能・ 名栗モデル地区)
	(株)相馬建設工業	雨水貯水、風力・ソーラー発電など自然エネルギー利用等施設、温暖化防止の企業活動	埼玉県川口市
千葉県	NPO 法人 たてやま・海辺の鑑定団	海辺の自然体験を通じた「魅力ある地域づくり」と、地域連携によるエコツーリズムの実施	千葉県館山市 (南房総)
	NPO 法人 南房総文化財・ 戦跡保存活用フォーラム	黒潮文化を育んだ海洋民の交流の痕跡や戦争遺跡など、地域にある文化遺産を保存・活用した平和学習ガイド、草の根の国際交流事業	千葉県館山市
東京都	東日本旅客鉄道(株)	その土地本来の木を植えて森を再生する活動など、環境にやさしい鉄道を利用したエコツーリズムを推進	東京都渋谷区
	(有)リボン <エコツーリズムネットワーク>	理念を共有するNPO等団体や企業、行政等とのネットワークと海外までをフィールドにした、植林などの環境教育もかねた地球温暖化対策事業	東京都新宿区
	小笠原エコツーリズム推進委員会	ルールの普及、地域資源の保全と持続可能な島づくりへの実践的な取り組み	東京都小笠原村 (小笠原モデル地区)
	小笠原村観光協会	お客の宿泊・ガイド等に対する口コミ評価を公開して、サービスレベルのアップを図るシステムを作成	東京都小笠原村 (小笠原モデル地区)
	小笠原エコツアーサービス マルベリー	戦跡区域の整備、島の情報提供、エコツアーの啓発等の地元観光関連団体で活動の中心的役割	東京都小笠原村 (小笠原モデル地区)
	小笠原海藻研究会	海藻の採集の自主ルール設定、食材としての利用の促進。地域振興に貢献	東京都小笠原村 (小笠原モデル地区)
	小笠原ホエールウォッチング協会	鯨類の研究と自主ルールの制定・運用、インタープリターの育成、固有資源を活かした観光の推進と経済の活性化等の取り組みと実践	東京都小笠原村 (小笠原モデル地区)
	東京都及び小笠原村	貴重な自然を有する地域においての、明確に自然を守るしくみが組込まれたエコツーリズムの実施	東京都小笠原村 (小笠原モデル地区)

推薦された団体一覧



都道府県	名称	取り組みの概要	実施地域*
新潟県	(株)当間高原リゾート あてま自然学校	環境保全技術の研究成果から構築した、約50種の体験プログラムや環境教育	新潟県十日町市
石川県	ヤマショー(株)	産業廃棄物処理工場見学の受入と環境保全の情報発信	石川県能美市 (粟生工業団地)
	加賀市・加賀市観光協会	温泉観光と自然資源・文化資源の接点づくり	石川県加賀市
福井県	三國湊魅力づくりプロジェクト 実行委員会	「持続可能な循環型社会」に向けての地域での実践活動を観光振興に取り入れた、新たなライフスタイルの提案ツアー	福井県三国町
山梨県	「歩こっ!富士山」実行委員会	富士山の唯一麓から登れる登山道の整備	山梨県富士吉田町 (富士山北麓モデル地区)
	富士河口湖町・富士河口湖町公認 ネイチャーガイド協議会	地域行政が行う、地域特有の自然環境に精通し、高いモラルを持ち、地域のエコツーリズム推進の主導的役割を担えるガイド育成	山梨県富士河口湖町 (富士山北麓モデル地区)
	山中湖観光協会 山中湖クラブツーリズム推進協議会	地域住民と別荘居住者、来訪者が一体となった、地域特性を活かしたリゾートコミュニティの創設	山梨県山中湖村 (富士山北麓モデル地区)
	富士山自然学校 (山中湖村交流プラザボランティア インストラクター養成講座)	植生の保全、地域住民等との共済体制の構築に向けた提案と実践活動、研究活動、人材育成活動	山梨県山中湖村 (富士山北麓モデル地区)
	富士山登山学校ごうりき	ガイドライン遵守と万全な安全管理体制によるツアー	山梨県富士吉田市 (富士山北麓モデル地区)
	(財)キープ協会	20年前より自然教育・自然体験型環境教育を実践してきた自ら感じる体験を通して伝えるインタープリテーション	山梨県北杜市 (清里高原)
長野県	国道ネーミングの会と 新野を愛する仲間たち	街道の愛称命名から始めた街道沿いの地域活性化事業と自然に囲まれた沿道の民族芸能文化財の再生	長野県下伊那郡
	ピッキオ	「保護管理事業」「環境教育事業」「エコツアー事業」「調査研究事業」の4つの事業が連携し、地域生態系の保全に貢献している	長野県軽井沢町
	NPO法人 信越トレイルクラブ	県境を跨いだ行政、民間団体、ボランティアの連携協力による自然・歴史文化保全や、トレイル整備・トレッキングツアーの実施	長野県飯山市及び周辺8市町村
	大平宿をのこす会	郷土環境保全地区の無住集落いろいろの宿「太平宿」生活原体験の場の利用者による保存。利用保存協力費の制定	長野県飯田市 (飯田モデル地区)
	猿庫の泉保存会	名水の環境保全と地元の文化活用による交流	長野県飯田市 (飯田モデル地区)
	(株)南信州観光公社	数々のエコツアープログラムを地域住民の協力で実施	長野県飯田市 (飯田モデル地区)
岐阜県	NPO法人 白川郷自然共生フォーラム	「共生」をテーマに、各種のロングスパンの協働プロジェクトを展開、そのプロジェクトを基盤にしたエコツアープログラムを実施	岐阜県大野郡
静岡県	石部棚田保存会	棚田の復元、オーナー制による都市住民との交流による地域振興、発展の促進	静岡県松崎町 (石部地区)
	ホールアース自然学校	修学旅行等を対象とした自然体験プログラム	静岡県富士郡 (富士山麓)
愛知県	OPA クリエイティブ・インターナショナル	万博と自然学校のジョイント企画「万博会場とトヨタ白川郷自然学校」	岐阜県白川村
三重県	紀南ツアーデザインセンター	紀南エコツーリズムの事業化への取り組み	三重県熊野市 (南紀・熊野モデル地区)
	NPO法人 海山ITフォーラム	世界遺産に登録された熊野古道を自然体験型観光に取り組み、自然環境の保全、観光関連産業との広域連携の組織作り活動	三重県海山町 (南紀・熊野モデル地区)
	(有)OZ	無人島上陸の自主ルール作成、自然体験、住民とのふれあいツアーの実施	三重県鳥羽市 (伊勢志摩国立公園)
	大杉谷自然学校	地域の自然と教育力を活かしたプログラムの提供と、講師等で関わる地域の住民の方々の理解促進	三重県宮川村 (大杉谷地域)
滋賀県	松見 茂 (環境を守るいまづの会会長)	植生の保全、増殖と自然観察会等の実施、普及活動	滋賀県高島市 (湖西モデル地区)
	湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部 ウォーキング実行委員会	住民ボランティア組織が運営する、地域特産品をPRするウォーキングイベント	滋賀県高島市 (湖西モデル地区)
	針江生水の郷委員会	水辺の暮らしや琵琶湖辺の自然を案内するツアー	滋賀県高島市 (湖西モデル地区)
	人形劇団あっぱりけ & 滋賀環境カウンセラー協会	人形劇団と環境カウンセラーによる体験プログラムの協働。環境教育を担う者の広がり連携の必要性を実践	滋賀県高島市 (湖西モデル地区)
	滋賀ツーリズム地域振興協議会	県内5地域でフォーラムを開催し、NPOと観光事業者が一体となった宿泊滞在型のエコツアーを議論によるエコツーリズムの普及活動	滋賀県
大阪府	クリエイティブツアー (有)クリエイティブサービス	高校の総合学習で農家組合とエコ菜園の実施・販売	大阪府大阪市・奈良県生駒市(生駒山麓)

都道府県	名称	取り組みの概要	実施地域*
兵庫県	(株)松下エコテクノロジーセンター	循環型経済社会を目指す使用済み家電商品の処理施設ツアー。モデル施設として世界に情報発信、地域の環境教育的施設として公開	兵庫県加東郡
	日本エコロッジ協会	国際ガイドライン遵守、環境に配慮した運営施設に滞在、地元還元を目指したツアー	兵庫県淡路市
	六甲摩耶エコファミリー制度実施団体	公共交通機関の利用促進による環境負荷軽減社会実験の実施	兵庫県神戸市(六甲モデル地区)
	三田エコツーリズム研究会	地域で暮らす人々と地域への愛着や誇りを育む交流、地域内外にわたる人的ネットワークの形成	兵庫県三田市
島根県	遊木民倶楽部	自然の中での体験活動による都市住民との交流。それによる地元住民の活力の増加	島根県美濃郡
山口県	カエルフォーラム	カエルの保護と生態系の学習、環境美化活動による環境教育	山口県周南市
	ホタル清流会	ホタルの保護と水辺の観察、環境美化活動による環境教育	山口県周南市
徳島県	中津賀くるま座会議	ワーキングホリデーによる地域整備	徳島県上勝町
香川県	(社)香川県観光協会	産廃不法投棄現場やリサイクル施設の見学と、環境調和型まちづくりに向けた地域の取り組みの学習を含む環境学習	香川県豊島町(瀬戸内海国立公園)
	エコアイランドなおしま推進委員会	国の承認を得た先進的リサイクル事業の見学ツアー。廃棄物という負の遺産から環境産業を発展させるモデルケースとして注目	香川県直島町(瀬戸内海国立公園)
高知県	NPO法人黒潮実感センター	柏島を「島丸ごと博物館」と捉え、持続可能な里海作りに向けた島内外の人を巻き込んだ取り組み	高知県幡多郡大月町
長崎県	佐世保市(観光商工部エコツーリズム推進室)	九十九島を調査・研究した結果によるエコツーリズムと遊覧船の乗船ボランティアガイドのサポート	長崎県佐世保市(佐世保モデル地区)
	させばパール・シー(株)	九十九島海域の調査の蓄積をもとに、ガイド育成と体験型プログラムツアーの実施	長崎県佐世保市(佐世保モデル地区)
熊本県	九州ハイランド観光ガイド・インストラクター協会	協会の内部規定でレベルを認めた認定ガイド。都市居住者と地域住民の仲立ちをする	九州脊梁山地一帯
大分県	入田地区活性化事業推進協議会	日本一美しい里づくりを目指した自治活動による植栽事業	大分県竹田市(入田地区)
	神原自治会(緒環運営協議会)	農泊や里山ツーリズム。『自然環境村宣言』をし環境学習会の開催や水質浄化、ゴミゼロ運動など地域一体の環境と経済の総合展開	大分県竹田市(神原地区)
宮崎県	諸塚村観光協会	歴史の古い自然と共生する森づくりを基礎に、森と共生する文化を活かした都市との交流事業	宮崎県諸塚村
鹿児島県	(有)屋久島野外活動センター(YNAC)	理解しやすく面白いインタープリテーションを開発し、自然を開発から上手に利用する方向へ転換する契機に	鹿児島県上屋久町(屋久島モデル地区)
	NPO法人奄美野鳥の会	オオトラツグミの生息数調査を通じた奄美の自然認識	鹿児島県名瀬市(奄美大島)
沖縄県	ホールアース自然学校沖縄校がじゅまる自然学校	資源保全のガイドラインに則ったプログラム。自然体験活動の推進・しくみづくり	沖縄県
	恩納村エコツーリズム研究会	自然環境・民俗調査で地域を知り、祖先の残した自然を地域の人が保全しながらエコガイドできるよう養成講座を実施	沖縄県恩納村
	仲間川地区保全利用協定締結事業者	仲間川流域の調査と保全利用協定の締結。自然のみ力を最大限に活用する新たな観光の推進	沖縄県竹富町(仲間川流域)
	座間味村ホエールウォッチング協会	鯨の観測調査、自主ルールの啓蒙、識別調査	沖縄県座間味村(座間味海域)
	NPO法人国頭ツーリズム協会	地域主体の事業運営、地元住民に向けた人材育成、環境教育プログラムの実施	沖縄県国頭郡
	平良市	サンゴ礁群「八重干瀬」における民間主催の観光上陸とサンゴ礁保全に関する取り組み。多様な関係主体の合意形成とガイドライン策定	沖縄県平良市
	エコツアーふくみみ	石垣島の自然保護プログラムによるエコツアーと地元の学校に向けた環境教育プログラム	沖縄県石垣市
	グループエコライフ	シニア・シルバーが生きがいづくりを兼ねて、孫たちに知恵を伝えるため、環境学習や体験活動のノウハウを学ぶ「知の旅」	沖縄県浦添市
	やんばる自然塾	地域の自然環境への配慮と歴史文化の継承、地域活性化への貢献	沖縄県国頭郡東村
	サバニクルーズ石垣島	海人体験ツアーで資源管理を含めた漁場管理の啓蒙	沖縄県石垣市
干立公民館事業部イルンティフタデムラ	集落全体で取り組み、地域住民がガイドを行う「村人体験プログラム」では島の生活を観光客が体験	沖縄県竹富町	

「第2回エコツーリズム大賞」募集のご案内

「第2回エコツーリズム大賞」の募集を2006年秋に行います。

募集対象

エコツーリズムへの優れた取り組み事例を募集します

取り組みの例

- ・地域におけるエコツーリズム推進団体の設立と運営
- ・保全利用協定やガイドラインなどのルールづくりやその継続
- ・農業体験や校外学習などと連携したエコツアーの実践
- ・環境への配慮や環境保全への貢献
- ・エコツアー等の情報提供のしくみ
- ・環境保全や地域振興への観光収益の還元システムづくり
- ・エコツアーにおけるゴミの削減や環境負荷の低減
- ・エコツアーのマーケティングや斡旋などを含めたエコツアー事業の運営 etc.

賞および表彰

エコツーリズム大賞(1点)、エコツーリズム優秀賞と特別賞各数点を予定しています

*受賞者には表彰状と副賞を授与します。

応募資格

1. エコツーリズムに取り組む各種団体(事業者、企業、地方自治体、地域のグループ等)
2. 経験年数、法人格の有無、種類を問いません。
3. 自薦・他薦の別を問いません。
4. 第1回エコツーリズム大賞受賞者も応募資格があります。

募集時期

2006年秋予定。詳細は環境省ホームページでご案内する予定です(<http://www.env.go.jp>)

審査

エコツーリズム大賞審査委員会において各賞を選定し、環境大臣が決定します。

受賞者には決定後すみやかに通知し、表彰式を行います。

審査基準

1. ルール - 資源管理や保全を目的とする適切なルールが策定・共有されているか。
2. ガイダンス - 良質なガイダンス(説明や解説)が実施されているか。
3. 保全 - 地域の資源の保全と持続的利用を図っているか。
4. 貢献 - 地域の振興や活性化に貢献しているか。



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

発行日：2005年11月

発行：環境省自然環境局総務課自然ふれあい推進室
〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2
TEL：03-5521-8271 FAX：03-3508-9278
<http://www.env.go.jp/>

制作：NPO法人日本エコツーリズム協会 Japan Ecotourism Society(JES)

